

バーコード ROBO4 による Web 用 QR コードの推奨作成方法

<第 3 版>

▶ はじめに

ここでは、バーコードROBO4を用いてWeb用のQRコードを作成するための方法を説明します。
Illustrator CS-CS6/CC-CC2018 で確認しました。

本書類での手順により作成した結果およびその運用による影響については一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書類の本文は、左右見開きで1単位構成となっております。右（奇数）ページは解説、左（偶数）ページはそれの図版です。それらの対応関係は英数字で表記してあります。

(C)1994-2017 有限会社ナカエソフトウェア開発 All Rights Reserved.

バーコード ROBO4, 組版 ROBO4 は有限会社ナカエソフトウェア開発の商標です。

Adobe, Illustrator は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の登録商標です。

Mac OS X, OS X, macOSはApple Inc.の登録商標です。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他全てのブランド名または製品名はそれらの所有者の商標もしくは登録商標です。



ROBO4: QRコード, GS1QRコード

タイプ: モデル2 (推奨)

誤り訂正レベル: M (15%)

バージョン (型番): 自動判別 (推奨: 最小)

モード: Shift-JIS (推奨)

連結数: 自動判別 (推奨: 最小)

☐ GS1QRコード (UCC/EAN) ※汎用には外してください。

データ: 自由編集

http://www.flashbackj.com

改行は '改行の制御コード:' の設定に従い option + return キーで
力できます。

符号化除外文字: 0 入力用制御コード

符号化データ数/現モードでの許容数: 25 / 26 (型番: 2 単独)

☐ 背景透過

モジュールサイズ(mm): 0.3526

シンボルの全幅(mm)×全高(mm): 11.6358 × 11.6358

マスクパターン: 自動判別

▼ ☒ ライブ 再生

余白モジュール数: 4

モジュールの補正值(1/1000mm): 0

連結時最大列数: 16

改行の制御コード: <CR> <LF>

マスクパターン: 自動判別 (推奨)

例として、1 モジュール 1 ピクセルのモノクロ 2 階調の PNG ファイルを作成します。

1

Illustrator の「ファイル」メニューから「新規 ...」コマンドを選びます。

表示されるダイアログウィンドウのプロファイルは「プリント」でも「Web」でも構いませんが、詳細オプションの「新規オブジェクトをピクセルグリッドに整合」は外しておいてください。

Mac 版 Illustrator CC 上での作業の様子です。

バーコード ROBO4 の CC-CC2015 用はバージョン 4.6.4 から、CS6 用はバージョン 4.5.6 から、バーコード作成時に書類のオプション属性「新規オブジェクトをピクセルグリッドに整合」が指定されていても（プロファイルが Web ではデフォルト）、この属性を回避して生成するようにしました。作成後のバーコードにも「ピクセルグリッドに整合」オプションは追加指定しないでください。そのオプション付き書類上でのバーコード作成時にはその旨のアラートが表示されます。

2

バーコード ROBO4 の QR コード・パネルを開きパネルメニューから初期設定を選びます。

「モジュールサイズ (mm):」欄に「0.3526」と入力し、データは適当に入力して（ここでは「http://www.flashbackj.com」）、作成ボタンをクリックしてください。

$$1 \text{ px} = 1 \times 25.4 \div 72 \text{ mm} \approx 0.3526 \text{ mm}$$

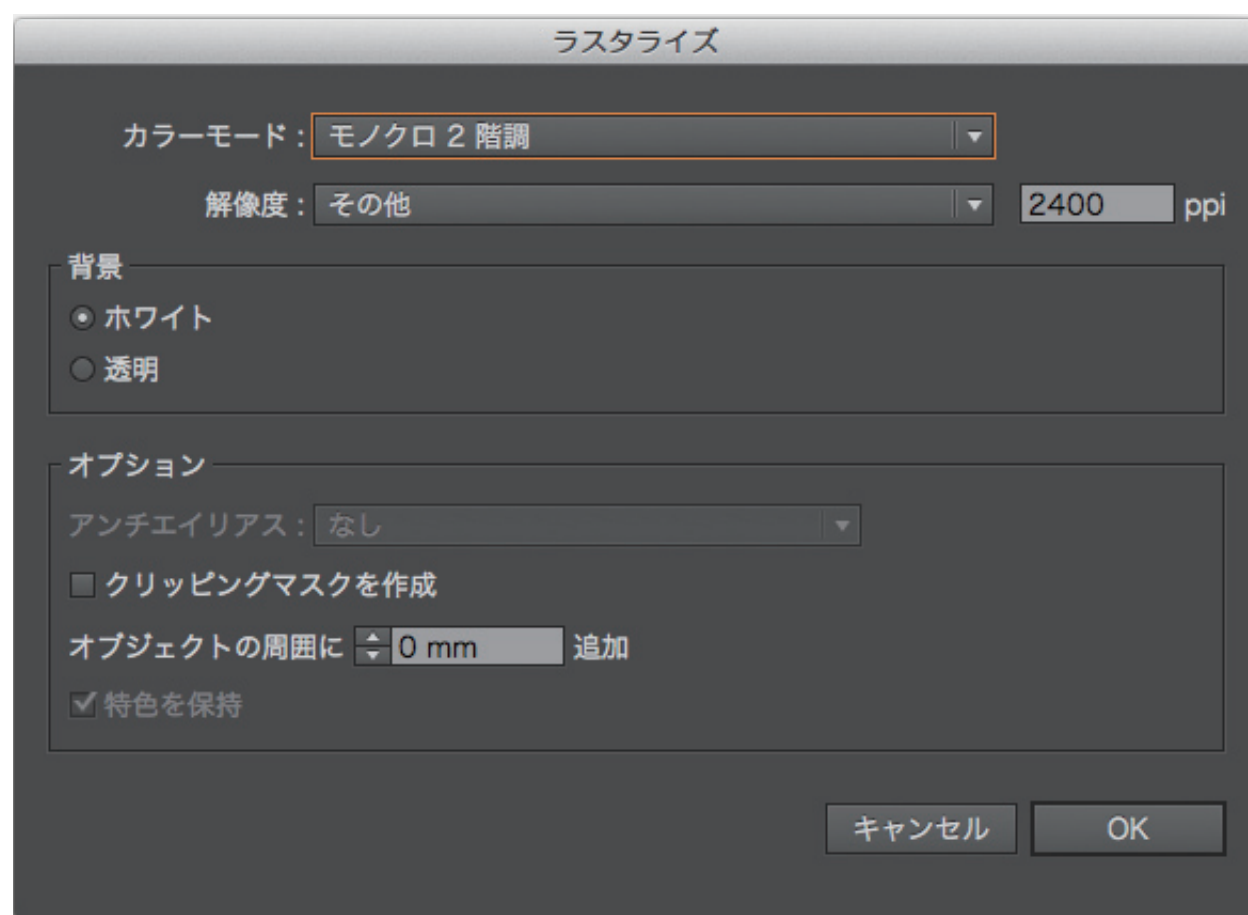
$$2 \text{ px} = 2 \times 25.4 \div 72 \text{ mm} \approx 0.7056 \text{ mm}$$

バージョンによっては小数第三位までに丸められますが、1 px として 0.353 mm としても問題ありません。

2



3



4



2

書類上に作成された QR コードを全選択状態にし、Illustrator の「オブジェクト」メニューから「ラスタライズ ...」コマンドを選びます。

3

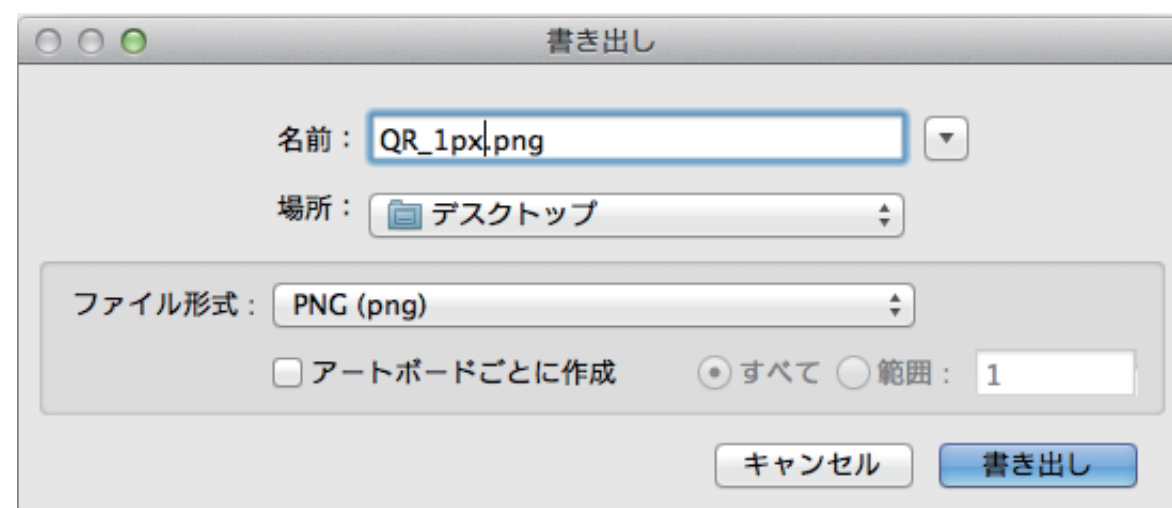
「ラスタライズ」ダイアログ・ウィンドウが表示されますので、カラーモードは「モノクロ 2 階調」、解像度は「その他」を選び、その右隣りの入力欄に「2400」と入力します。背景は「ホワイト」を選んでください。

CS5 以前ではこのダイアログ・ウィンドウの仕様や配置がやや異なりますが、ここで必要な設定項目は備わっています。

4

OK ボタンをクリックすると QR コードがラスタライズされます。

5



5

次に、これを PNG ファイルとして書き出します。

Illustrator の「ファイル」メニューから「書き出し ...」コマンドを選択します。

ファイル形式に「PNG (png)」を選び、適当な名前を入力して（ここでは「QR_1px.png」）、「書き出し」ボタンをクリックします。

6



6

「PNG オプション」ダイアログ・ウィンドウが現れますので、解像度を「スクリーン (72 ppi)」に、アンチエイリアスを「なし」に設定して OK ボタンをクリックします。

これで書き出し完了です。

CS5 以前ではこのダイアログ・ウィンドウの仕様や配置がやや異なりますが、ここで必要な設定項目は備わっています。



ステップ5で指定した保存先のファイル（ここでは「QR_1px.png」）を開いて確認します。

作成したQRコードを実際に利用する際には必ず機器読み取りのテストをおこなってください。ご自身の責任においてお願い致します。